



▲子育て支援センター交流事業「なかよしこよしのつどい」

長野健児
ながのけんじ

幼保一元化を問う

答 質

認定子ども園の具體的な計画は。
保健福祉部長

緒方町で実施しま



どうなる3歳児

確定を行い、申請書類作成事務について助言、指導をしていきます。

質

市教委は、犬飼町の通山・長谷幼稚園

の2園について、平成20年度より4・5歳の2年保育にする考え方だが、3歳児についての対応策は。

答 質

教育長

本市の保育年限は

まちまちであり、平等に教育を受けられるようにしたい。

3歳児については、母親または家族による教育をお願いしたい。

農地を守ろう

質

「農地・水・環境保全対策事業」の指導と取り組みが遅れている影響は。

答 産業経済部長

大分県農地・水・環境保全活動地域協議会が3月に設立され、申請については基本的に19年度1回限りで、最終期限が8月末となっています。市としては県や関係機関と連携をとりながら地区の

質 地球温暖化防止のため、トウモロコシなど穀物からの、バイオ燃料が注目されている。そのことにより、食糧・飼料の不足への不安が高まっているが、対応は。

答 産業経済部長

外国では、バイオ燃料への転換による穀物の争奪が起っています。

我が国は、食糧・飼料の大部

その影響を受けて価格が急騰しています。今後、市においては情報収集などを行い、積極的な対応を考えていきたい。



これからの農業は

小野順一

▲環境にやさしく、クリーンな燃料
廃油から「バイオディーゼル燃料」ができます

答 質

休耕・転作・作付け放棄地を利用したバイオ燃料用作物や飼料作物の栽培はできないか。

答 産業経済部長

採算性をいかに確保するかが最大の課題であることから、農業の経営として成り立つことが実証されれば対応していきたい。